長野フィル
NAGANO PHILHARMONIC ORCHESTRA

ブラームス 交響曲第3番 ヘ長調
BRAHMS No.3

ベートーヴェン 交響曲第1番 ハ長調
BEETHOVEN No.1



©木村護

ゲストコンサートマスター
森下 幸路
Koji MORISHITA

指揮
寺岡 清高
Kiyotaka TERAOKA

2027.2/14(日)
開演／14:00 開場／13:30

長野フィルハーモニー管弦楽団 演奏会
NAGANO PHILHARMONIC ORCHESTRA

ホクト文化ホール(長野県県民文化会館) 大ホール

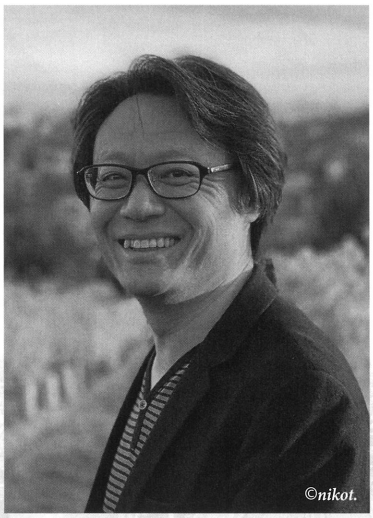
チケット料金／一般：1,500円 高校生以下：500円（全席自由）
プレイガイド／ホクト文化ホール・長野市芸術館チケットセンター・美鈴楽器・ヒオキ楽器本店シャコンヌ
問い合わせ先／長野フィルハーモニー管弦楽団（nagano.phil@gmail.com）

長野フィルハーモニー管弦楽団の
SNSからもお問い合わせいただけます。

X　Instagram

主催：長野フィルハーモニー管弦楽団　共催：一般社団法人長野県文化振興事業団、長野県、長野県教育委員会
後援：信濃毎日新聞社、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送

GUEST PROFILE



指揮 寺岡 清高 *Kiyotaka Teraoka*

早稲田大学第一文学部卒業。桐朋学園大学を経てウィーン国立音楽大学及びイタリア・シエナのキジアーナ音楽院で学ぶ。1997年同音楽院より「フランコ・フェラーラ大賞」を授与される。これまでに指揮をラーヨヴィッチ、チョン・ミュンフン、テミルカーノフ、N.ヤルヴィ、ジュリーニの各氏他に師事。2000年ミトロプーロス国際指揮者コンクール優勝。以来サンクト・ペテルブルグ・フィル、フェニーチェ歌劇場管、オランダ放送管、ウィーン室内管、イギリス室内管を始め、ヨーロッパ各国のオーケストラへ客演。日本では2001年に大阪交響楽団を指揮してデビュー。これまでに札響、仙台フィル、新日フィル、シティ・フィル、日フィル、名フィル、セントラル愛知響、中部フィル、関西フィル、九響等を指揮している。大阪響とは2004年１月の正指揮者就任以来、2011年4月からは常任指揮者として足掛け15年間、ベートーヴェンからブラームス、マーラーを経てフランツ・シュミットに至るウィーン世紀末のロマン派音楽を積極的にとりあげ続けた。とりわけ2013年6月の第176回定期演奏会「オール ハンス・ロット プログラム」は大きな反響を呼び、同年の大阪文化祭賞を受賞した。1991年よりウィーン在住。



コンサートマスター 森下 幸路 *Koji Morishita*

京都市生まれ。桐朋学園大学卒業。米国シンシナティ大学にてドロシー・ディレー女史に学ぶ。97年にはスペイン、2011年より毎夏北ドイツ音楽祭、13年からたびたび台湾に招かれ、14年にはオーストリー、18年、19年とモスクワ、また21年はモスクワでのリサイタル、サンクトペテルブルク（マリンスキー大劇場）でのガラコンサートを成功させた。特選盤を含むソロアルバム多数。

小林健次、田中千香士、江藤俊哉・アンジェラ夫妻他に師事。

2000 年まで仙台フィル、現在は大阪交響楽団首席ソロコンサートマスター、大阪音大特任教授、東京音大指揮科アドバイザーをつとめている。

※使用楽器は将軍堂（株）（H.Hiruma）の貸与 Antonio Stradivari “Reichardt”,1680

NAGANO PHILHARMONIC ORCHESTRA



長野フィルハーモニー管弦楽団

長野県県民文化会館とオーストリア・ウィーン楽友協会との姉妹提携事業の担い手として活動するため、1988年に会館付属団体「長野県県民文化会館管弦楽同好会」としてスタート。その後「長野フィルハーモニー管弦楽団」と改称し、現在に至る。

1998年3月長野パラリンピック開会式で演奏、また1999年10月には長野県文化使節団として「ウィーン楽友協会ゴールデンザール」において演奏会を開催した。毎年9月はウィーンの、2月は国内外の音楽家とそれぞれ共演し、近年はヴェルディ/レクイエム（2024年9月）、ラフマニノフ/交響的舞曲（2024年2月）、ムソルグスキー（ラヴェル編）/展覧会の絵（2023年9月）などの意欲的な作品を演奏している。